

2010年度第3回FD講演会

日 時： 2010年11月24日(水)16:30～19:00

会 場： グリーンホール

テーマ： 3教員による模擬授業

内 容：

第1部「フェリス白熱教室」(3教員による模擬授業)

松田浩准教授(日本文学科)「板書とプリントの授業スタイル」

授業冒頭での到達目標の提示、要点が整理された板書、解説で学生の理解を促す工夫がなされた授業が展開されました。

佐藤輝准教授(国際交流学科)「エコキャンパスを題材にした大人数授業の運営」

教室内の照明の調整、授業冒頭でのレスポンスシートの記入、教員による教室内巡回など、学生を授業に集中させる工夫がなされた授業が行われました。

秋岡陽教授(音楽芸術学科)「パワーポイント、音源資料、FerrisPassport等を用いた授業スタイル」

FerrisPassport、パワーポイント、Google サイトなど情報通信技術(ICT)と音源資料を活用し、教室と授業外学習(予習・復習)を連携させる工夫がなされた授業が行われました。

第2部「ディスカッション」(6名(各学部2名)のディスカッサントが加わってのディスカッション)

谷知子教授(日本文学科、FD副委員長)の司会により、ディスカッションが行われました。

まず、6名のディスカッサントから、3教員の学生に対する気配り、注意力を喚起する工夫など、自分の授業にも取り入れたい要素がたくさんあるとの感想が述べられました。

引き続き、ディスカッションでは、(1)パワーポイントの活用、(2)大人数授業の運営、(3)対話型授業の実践、(4)FerrisPassportの活用などが取り上げられ、また、会場からも大人数の双方向性授業の秘訣などが紹介され、様々な工夫により授業の活性化が図れることの見聞交換がされました。



模擬授業3(秋岡教授)風景



ディスカッション風景

2010年度FDフォーラム

日時： 2010年10月27日(水)18:00～20:00

会場： キダーホール

テーマ： カリキュラム・マップ中間発表会

内容：

本学ではFD活動の一環として、今夏、愛媛大学の小林直人先生を講師にお招きして「カリキュラム・マップワークショップ」(2010年7月14日)を実施しました。ワークショップには、各学科等のカリキュラム責任者が参加し、マップ作成の目的や作成方法・手順等について理解を深め、実際にマップの作成を進めています。

今回のワークショップは、各学科等で作成中のカリキュラム・マップについて、大学全体で状況を共有しつつ、他学科や共通科目との関係性を検証することを目的として実施しました。各カリキュラムからの発表や質疑による対話を通して、特に他学部・他学科専門科目履修の自由度が高い本学の特徴を踏まえ、各カリキュラム間の関連性、とりわけ専門科目と共通科目との有機的なつながりの重要性について再確認することができました。ワークショップを通じて浮き彫りとなったいくつかの課題を踏まえつつ、今後、カリキュラム・マップの完成を目指して作業を進めることとなります。

なお、完成したカリキュラム・マップは、公式ウェブサイトでも公開していく予定です。



コミュニケーション学科のプレゼンテーション



フロアからの質疑

2010年度第2回FD講演会

日時： 2010年9月17日(金)16:10～18:20

会場： キダーホール

テーマ： 学士力をどう育てるか？－教育の質保証のあり方－

第1部：川口昭彦先生(大学評価・学位授与機構特任教授)による講演

第2部：川口昭彦先生と大野英二郎副学長による対談

内容：

大学評価・学位授与機構特任教授川口昭彦先生をお招きし、2部構成の講演会を開催しました。

第1部では、「なぜ教育の質保証が求められるのか」という問題に対して、川口先生より、(1)大学をとりまく環境の変化と大学の自治(自主・自律)の問題、(2)保証すべきは、「学位の質」あるいは「職業資格の質」であること、(3)教育活動の「成果(アウトカムズ)」を社会に提示することの必要性、(4)社会的評価に応えられる「内部質保証システム」を確立することなどが、詳細な分析・検証結果に基づき、わかりやすくお話いただきました。

第2部では、大学側からみた質保証の課題について、川口先生と大野副学長による対談がもたれました。フロアからも成績評価基準についての質問が出され、活発な意見交換が行われました。



第1部：川口先生による講演



第2部：川口先生と大野副学長による対談

2010年度FDワークショップ

日時： 2010年7月14日(水)18:00～20:00

会場： 2403教室(2号館4階)

講師： 小林直人先生(愛媛大学 教育企画室長・大学院医学系研究科教授)

テーマ： 3つのポリシーに基づいたカリキュラム・マップの作成技法を学ぶ
ーコミュニケーション学科を事例としてー

内容：

愛媛大学教育企画室長の小林直人先生を講師にお迎えして、FDワークショップ「3つのポリシーに基づいたカリキュラム・マップの作成技法を学ぶーコミュニケーション学科を事例としてー」を開催いたしました。本会構成として、(1)小林先生の具体例を引用しての解説、(2)本学コミュニケーション学科のモデルケースのプレゼン、(3)各学科・各部門別のグループワーク、(4)小林先生のまとめという形態で、実施しました。参加者からは、「今までの本学の行事の中で一番すばらしかった」「カリキュラム・マップを作る作業の中で初めて気付くことが多かった」「外部に向けた戦略として活用できる」といった多くのポジティブな感想が寄せられました。

秋にはこのワークショップを受けて、「全学FDフォーラム」を開催し、「カリキュラム・マップ中間発表会」を行うことになりました。



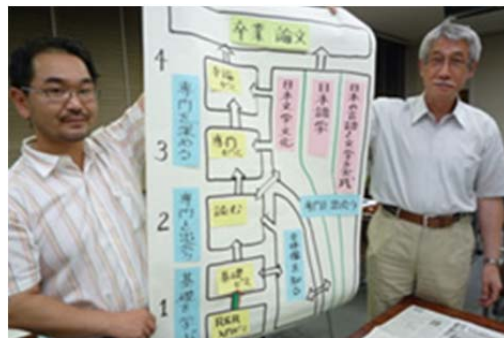
(1)小林直人先生の解説



(2)コミュニケーション学科のプレゼン(諸橋教授)



(3)グループワーク風景(英語・初習外国語)



(4)カリキュラム・マップ成果物(日本文学科)

2010年度第1回FD講演会

日時： 2010年5月19日(水)16:30~19:00

会場： グリーンホール

テーマ： フェリスの人材養成目的—3つのポリシーの横断的推進を考える
(6部長によるパネルディスカッション)

内容：

フェリスでは、どのような人材を、どのような方法で、育成していくのか？

2010年度に全学的議論を経て3つのポリシーが策定され、それを横断的に推進していく段階に入った今、フェリスの教育をさらにパワーアップしていく第一歩として、6部長によるパネルディスカッションを実施しました。

教務、入試、学生、就職、海外交流、企画・広報の各部長がパネリストとなり、それぞれの視点から3つのポリシーを実践していくために何が必要かについて発言があった後、フロアも交えて白熱した議論が行われました。カリキュラム編成や履修指導といった大学全体に関わる問題から、入試動向、就職指導、ブランドイメージに至るまで議論は多岐にわたり、貴重な情報共有の場ともなりました。

また、パネルディスカッションの最後には、今後、FDを通じて全学横断的に諸改革を進めていくためには、こうした議論を重ねることで構成員(教職員)の共通理解を得ることの重要性を確認しました。



6部長によるパネルディスカッション



海外交流部長による発言